

## シラバス

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数
社会学演習(2)(5)	2020	通年	土2	文学部,社会学専攻, 社会情報学専攻(情報コミュニケーションコース)	金野 美奈子	3年次配当	4

## 履修条件・関連科目等

## 授業で使用する言語

## 授業で使用する言語(その他の言語名)

## 授業の概要

文献講読とメンバーの研究報告を中心に、現代社会のあり方を多様な角度から社会的に考察する力を養うゼミです。文献講読では、さまざまな角度から社会を考える助けとなる文献を丁寧に読み、自由なディスカッションで考察を深めます。2020年度は柳田國男『明治大正史 世相篇』を手掛かりに、現代社会の特質を歴史的視点から浮かび上がらせる考察を重ねていきます。私たちの生きる「今ここ」とは違う社会への想像力を広げ、本当に問われるべき問いは何かを考えていくエクササイズは、各自の研究へのヒントにもなります。研究報告は、メンバーそれぞれが行う個人研究について行います。テーマの決定から、先行研究レビュー、研究の構想と実施、論文執筆まで、互いの報告とフィードバックを通して段階を踏んで進めていきます。

## 科目目的

1. 現代社会を大きな目で捉える視野を養います。
2. ミクロからマクロまで、社会を多面的に捉える視点を獲得します。
3. よりよい社会を考えるための想像力を磨きます。
3. 論理的で説得力あるプレゼンテーションおよび文章作成の力を伸ばします。

## 到達目標

## 授業計画と内容

- 第1回 インTRODクッション  
 第2回 文献講読&ディスカッション①---テキスト第1章  
 第3回 文献講読&ディスカッション②---テキスト第2章  
 第4回 文献講読&ディスカッション③---テキスト第3章  
 第5回 文献講読&ディスカッション④---テキスト第4・5章  
 第6回 文献講読&ディスカッション⑤---テキスト第6・7章  
 第7回 文献講読&ディスカッション⑥---テキスト第8・9章
- 第8回 研究発表&フィードバック①---研究とは  
 第9回 研究発表&フィードバック②---テーマを設定する  
 第10回 研究発表&フィードバック③---基本文献・先行研究をレビューする  
 第11回 研究発表&フィードバック④---研究課題と方法を決定する  
 第12回 研究発表&フィードバック⑤---資料収集・調査の準備をする(1)  
 第13回 研究発表&フィードバック⑥---資料収集・調査の準備をする(2)  
 第14回 研究発表&フィードバック⑦---資料収集・調査を実施する(1)

(夏季休暇)

- 第15回 文献講読&ディスカッション⑦---テキスト第10・11章  
 第16回 文献講読&ディスカッション⑧---テキスト第12・13章  
 第17回 文献講読&ディスカッション⑨---テキスト第14・15章  
 第18回 文献講読&ディスカッション⑩---まとめ
- 第19回 研究発表&フィードバック⑧---資料収集・調査を実施する(2)  
 第20回 研究発表&フィードバック⑨---結果をまとめ分析・考察を行う(1)  
 第21回 研究発表&フィードバック⑩---結果をまとめ分析・考察を行う(2)  
 第22回 研究発表&フィードバック⑪---追加資料収集・調査を行う  
 第23回 研究発表&フィードバック⑫---論文フォーマットの確認  
 第24回 研究発表&フィードバック⑬---論文アウトラインを書く  
 第25回 研究発表&フィードバック⑭---論文草稿を書く(1)  
 第26回 研究発表&フィードバック⑮---論文草稿を書く(2)  
 第28回 総括・まとめ

## 授業時間外の学修の内容

## 授業時間外の学修の内容(その他の内容等)

## 1. 文献講読回

[事前学習]テキストの指定箇所を読み、ディスカッションのためのレジュメを作成してきてください(重要と思われた事柄、新たな発見、疑問点や批判点、現代社会に関する関連考察など)。

[事後学修]各回終了後、ディスカッション内容を踏まえたコメントを提出してください。(60分)

## 2. 研究発表回

各自の研究進捗状況を発表用レジュメにまとめてきてください。(60分)

---

**授業時間外の学修に必要な時間数/週**

---

**成績評価の方法・基準**

---

**成績評価の方法・基準(備考)**

---

平常点50%、レポート(論文課題)50%。単位取得には8割以上の出席を要します。

**課題や試験のフィードバック方法**

---

**課題や試験のフィードバック方法(その他の内容等)**

---

**アクティブ・ラーニングの実施内容**

---

**アクティブ・ラーニングの実施内容(その他の内容等)**

---

**授業におけるICTの活用方法**

---

**授業におけるICTの活用方法(その他の内容等)**

---

**実務経験のある教員による授業**

---

**【実務経験有の場合】実務経験の内容**

---

**【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容**

---

**テキスト・参考文献等**

---

(テキスト) 柳田國男『明治大正史 世相篇』(講談社学術文庫, 1993年)

**その他特記事項**

---

**参考URL**

---

**コメント1**

---

**コメント2**

---

特別措置期間中はmanabaを中心としたオンライン授業を実施します。当該期間においてはmanaba上で課題を提示し、小レポート等を実施します。内容はおおむねシラバスに沿って進めます。特別措置期間以降における授業形態・授業運営方法については改めて連絡します。授業の成績評価方法は小レポート(60%) + 学期末レポート(40%)に変更します。なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今後さらに授業形態・授業運営方法が変更される可能性があります。

指定テキストは、4月13日(月)以降、生協のオンライン販売で購入できます。ただし発送は4月23日(木)以降となる予定ですので、早めに入手したい場合は一般書店等での購入をお勧めします。

**コメント3**

---

**コメント4**

---